

# 総務省というチームが 社会経済の発展を支えています

## ○係員時代 〈自分の礎となる経験〉

当時はPCに触れたこともなかった自分が、課内研修でプログラミングの知識を取得し、社会経済の基盤となる統計データを集計するための情報システムの開発を行っていました。多数のユーザーの要望を実現するためにチームでモノを作り上げるという貴重な経験は、チームプレーをモットーとする今の自分の基礎を作ってくれたと思っています。当時開発したシステムが大きく進化を遂げた話を後輩達から聞くと、感慨深いものがあります。

## ○係長時代 〈プロジェクトチームを率いて〉

係長時代は、主に政府全体の情報システム改革に携わりました。新たに開発するシステムも複数の民間事業者を率いて行う大規模なプロジェクトとなり、ユーザーも全省庁の職員や国民全体となりました。また、官房企画課では、総務省内にある約100システム(当時)のとりまとめを行うなど、関わる人も世界も大きく広がりましたが、だからこそ、仕事をする上での個々の信頼と協力の重要性を実感することができました。

## ○今、そしてこれから 〈社会経済の発展のために〉

現在は、統計局で統計作成の基盤となるデータベース(全国すべての企業等の情報を網羅したもの)の企画、管理等を行っています。統計は、政策立案や経営判断等の基盤となり、社会経済の発展に欠かせないもので、現在、その統計をより良いものとするべく、政府全体で統計改革が実施されているところです。その一端を担う業務の重要性を実感しつつ、これまで培ってきたチームプレーの精神を発揮して充実した日々を過ごしています。

## MESSAGE

総務省は、多岐にわたる業務や多くの方々との関わりを通じて、社会人としてはもちろん、一人の人間として成長できる場所です。皆さんのチャレンジを待っています。

統計局統計作成支援課課長補佐

星野 健

HOSHINO Ken

|       |     |   |
|-------|-----|---|
| 平成10年 | 4月  | 統計センター採用<br>管理部情報処理課プログラム第2係            |
| 平成15年 | 4月  | 統計センター製表部情報処理課                          |
| 平成17年 | 4月  | 統計センター製表部情報処理課上級製表職                     |
| 平成19年 | 4月  | 行政管理局行政情報システム企画課主査                      |
| 平成21年 | 4月  | 統計センター情報技術部情報処理課<br>上級情報技術職             |
| 平成23年 | 4月  | 統計局統計情報システム課最適化企画係長                     |
| 平成25年 | 7月  | 大臣官房企画課情報システム室<br>情報システム総括係長            |
| 平成27年 | 5月  | 統計局統計調査部経済基本構造統計課<br>事業所母集団データベース管理企画係長 |
| 平成27年 | 10月 | 統計局統計調査部経済基本構造統計課課長補佐                   |
| 平成29年 | 4月  | 現職                                      |

